

令和4年度白神山地世界遺産地域及び周辺部における事業計画・実績

機関名 青森県自然保護課

番号	事業名	事業概要（目的・方法・実施内容等）	事業主体（窓口）	備考
1	世界自然遺産地域管理事業	<p><目的> 入山マナーの向上や自然保護意識の普及啓発を図る。</p> <p><実施内容> 白神山地世界遺産地域巡視員を6名配置し、入山者への指導や歩道の巡視等を行う。</p> <p><実施状況> 白神山地世界遺産地域巡視員を6名配置し、入山者への指導や歩道の巡視等を行った。</p>	青森県自然保護課	巡視日数：219日
2	自然観察歩道等維持管理事業	<p><目的> 青森県が管理する白神山地周辺の自然観察歩道の安全性及び利便性を確保する。</p> <p><実施内容> 緊急性の高い箇所において対策工（笹の刈払いなど）を行う。</p> <p><実施状況> 緊急性の高い箇所において対策工（高倉森の危険木処理）を行った。なお、白神岳十二湖コースの刈払いについては、日野林道崩落による全コース通行止めの影響から来年度に繰越予定となっている。</p>	青森県自然保護課	
3	白神山地ビジターセンターの指定管理者による管理運営	<p><目的> 白神山地の魅力と自然情報等の発信を行うとともに自然ふれあい活動を推進する。</p> <p><実施内容> 青森県森林組合連合会（H30～R4）を指定管理者とし、白神山地ビジターセンターの管理運営を行い、SNSによる情報発信や自然観察会等を実施する。</p> <p><実施状況> 青森県森林組合連合会（H30～R4）を指定管理者とし、白神山地ビジターセンターの管理運営を行い、SNSによる情報発信や自然観察会等を実施した。</p>	青森県自然保護課	

番号	事業名	事業概要（目的・方法・実施内容等）	事業主体（窓口）	備考
4	白神山地「学びの森」推進事業	<p><目的> 自然保護思想の啓発、白神山地地域の持続的発展を図るため、白神山地を「学びの森」と位置づけ、次世代への環境教育及び企業の環境保全等の活動を推進する。また、令和5年度に白神山地の世界自然遺産登録30周年を迎えることから、県民を「白神山地の価値や魅力の学びなおし」に誘導するイベントを行い機運の醸成を図る。</p> <p><実施内容> (1) 白神山地を校外学習の場として利用してもらうため、小学校教員を対象に、地元ガイドを講師として白神山地の自然や文化を体験する校外学習体験研修を実施する。 (2) 白神山地を環境保全研修の場として利用してもらうため、企業向けの環境保全研修プログラムを開発し、企業を対象に体験研修を実施する。 (3) 白神山地と縄文遺跡群の連携によるイベント（白神山地VR体験×写真展（縄文遺跡群施設等）、スタンプラリー（白神山地＋縄文遺跡群））を実施する。</p> <p><実施状況> (1) 白神山地を校外学習の場として利用してもらうため、小学校向けの校外学習プログラムを開発し、小学校教員を対象に、白神山地ビジターセンター職員を講師として白神山地の自然や文化を体験する校外学習モニターツアーを西目屋村において実施した。 (2) 白神山地を環境保全研修の場として利用してもらうため、企業向けの環境保全研修プログラムを開発し、企業を対象に環境保全研修モニターツアーを深浦町において実施した。 (3) 白神山地と縄文遺跡群の連携によるイベント「白神山地VR体験×写真展」を三内丸山遺跡、大平山元遺跡、ニツ森貝塚、是川遺跡、小牧野遺跡において開催したほか、「白神山地で体験スタンプラリー」を実施した。</p>	青森県自然保護課	
5	自然と生活を守る大型獣管理対策事業	<p><目的> 大型獣（ニホンジカ・イノシシ・ツキノワグマ）の適正な保護管理を継続的に実施する。</p> <p><実施内容> 目撃情報収集・提供体制の構築及び大型獣捕獲担い手育成を強化し、効率的なニホンジカの捕獲等を実施する。</p> <p><実施状況> 目撃情報収集・提供体制の構築及び大型獣捕獲担い手育成を強化し、効率的なニホンジカの捕獲等を実施した。</p>	青森県自然保護課	

令和4年度ニホンジカ対策事業計画・実績

機関名：青森県自然保護課

番号	新規/継続	実施地域	事業名	事業内容（目的・方法・予算・実施内容など）	実施者
1	継続	県内	ニホンジカ生息状況の把握	<p>① モニタリング調査 [目的] 県内の生息域及び個体数の把握に必要な科学的なデータ収集のため、モニタリング調査を行う。 [方法] 継続して実施している三八地域を含め、目撃情報が増加傾向にある地域において糞塊調査等を実施する。 [実施状況] ・受託者 合同会社東北野生動物保護管理センター ・事業実施期間 令和4年8月～令和5年3月 ・業務内容 糞塊密度調査、ポイストラップ調査、出猟カレンダー集計、越冬地調査、生息数の推定</p> <p>② 自動撮影カメラの設置 [目的] 県内各所に自動撮影カメラ(夜間撮影可)を設置し、ニホンジカの生息域及び生態を把握する。 [方法] 県内市町村等に貸与し、カメラの設置及びデータ回収を行う。 [実施状況] 県内28市町村に103台設置。撮影された個体数39頭(令和5年1月15日現在)。</p> <p>③ 目撃情報の収集 [目的] ニホンジカの生息域を把握する。 [方法] ニホンジカの目撃情報を収集する体制を強化するため、情報提供を依頼するチラシを作成し関係機関等に配布するほか、県ホームページやラジオを活用して県民等へ目撃情報の提供を呼びかける。 [実施状況] 情報提供を依頼するチラシを作成し関係機関等に配布したほか、県ホームページやラジオを活用して県民等へ目撃情報の提供を呼びかけた。</p>	自然保護課
2	継続	県内	ニホンジカ捕獲等事業	<p>[目的] 「第二種特定鳥獣管理計画(第2次ニホンジカ)」に基づき、国の指定管理鳥獣捕獲等事業交付金を活用して、ニホンジカの集中的かつ効率的な捕獲を実施する。 [方法] モニタリング調査結果及び目撃情報結果から効果的に捕獲が可能と判断される地域において、県が実施主体となって行う捕獲等事業を認定鳥獣捕獲等事業者に委託して実施する。 [実施状況] ・受託者 一般社団法人青森県猟友会 ・事業実施期間 令和4年8月～令和5年3月 ・実施区域及び捕獲数(令和5年1月15日現在) 三八地域 0頭 上北地域(十和田市、七戸町) 0頭</p>	自然保護課

番号	新規/継続	実施地域	事業名	事業内容（目的・方法・予算・実施内容など）	実施者
3	継続	県内	狩猟者の育成・確保	<p>〔目的〕 ニホンジカを目撃情報が増加している東青地域等において大型獣の捕獲及び解体処理技術を有する担い手の育成を図る。</p> <p>〔方法〕 大型獣捕獲講習会の開催</p> <p>〔実施状況〕 参加者12名 ①令和4年11月5日 知識講習 ②令和4年11月6日 狩猟技能講習 ③令和4年12月3日～4日 狩猟及び解体実習</p>	自然保護課